

研究課題 (テーマ)		県内ものづくり産業に資する IoT デバイスならびに最適化手法の研究開発	
研究者	所属学 科等	職	氏名
代表者	岩本健嗣	准教授	研究統括、共通ハードウェアの開発、機器の状態認識技術
	榊原一紀 中村正樹 高野吉寿 林寿郎	准教授 准教授 (株)タカノギケン・ 専務取締役 富山県商工企画 課・係長	最適化アルゴリズム 数理モデリング 実証実験、最適化の知見提供 業界、IoT コンソーシアムとのリエゾン
研究結果の概要			
<p>この研究は、同時に採択された平成 30 年度総務省 IoT サービス創出支援事業と並行して、成果を相互に活用しながら遂行した。</p> <p>プロジェクト全体の構成を以下の図に示す。</p> 			
<p>本研究では、特に[取組み 1]と[取組み 3]について取り組んだ。</p> <p>[取組み 1]では、総務省事業の設計を活用し、ハードウェアを開発し、実証企業に設置した。設置企業では、主にトラブルの種類を取得することで、改善点を把握することが可能となった。</p> <p>[取組み 3]では、ある企業の生産スケジューリングをシミュレーションにより評価した結果、実際の納期より 23%の短縮できることがわかった。</p>			
今後の展開			
<p>現在、分担者でもある県の商工企画課と協働し、富山県 IoT 推進コンソーシアムを通じて、本研究成果を活用したハードウェア、ならびに、ミドルウェアをプラットフォームとして活用、実用化する働きかけを行っている。</p> <p>データ収集実験は引き続き、分担者のものづくり企業で行っており、データ活用の方法について検討を続けている。</p>			